

NPO法人 あっとわん

ママのこころと笑顔の応援団



第118号

通信

あっとわんは子育て支援の団体です。親と子のエンパワメントを応援しています。 2013年9月27日発行 46,370部

伝えたいことを伝えるために・・・

ステキ女子は、コミュニケーションもステキ!

学生時代が終わり、社会に出て働き、結婚して子どもが生まれ、子どもを介した人間関係が始まります…。それは、新しい人との出会いとなり、つながりであるわけです。また、新しい世界と関わる中で、「伝えたいことを伝える」場面がたくさんあります。いくつかのシチュエーションで、考えてみましょう。



1 サークルや団体活動に参加していて、違う提案や見直しをしてほしいと思ったとき

提案や意見を出したいと考える人は、いろんなことに気づいたり、新しい情報をキャッチするのが得意な人が多いのです。いきなり提案をすると、びっくりされることもあります。そして、それが拒絶されることになったり、聞いてもらえない…と感じることもありますので、伝わるように伝えるため、いくつかのポイントを考えてみましょう。

- ① まずは、仲間作りから始める。▶▶▶ 同じ意見を持っている人を数人見つける。
- ② 前のめりにならない ▶▶▶ 「自分は正しい」を前面に出さない。出されると聞いている方は否定された気持ちになりがち。
- ③ 合意できるゾーンを探す ▶▶▶ 否定するのではなく、共通点のあるゾーンを見つけて共感していくこと。
- ④ なぜ、上手く伝わらないかを考えてみる ▶▶▶ 聞いている人の個人的な感情や状況が背景にあり、上手く伝わっていない可能性を考えてみる。

ポイント!

普段から人間関係づくりを心掛けておくことも大切です。

2 さまざまな機関に問い合わせをして聞いてみたいことがあるとき。

わからない事があるから聞いてみたい、確認してみたい!と思ったとき、電話で問い合わせをするのが一般的ですが、ここでも、伝え方のマナーを知っているとスムーズになることが多くあります。

- ① 聞きたいことや確認したいことを、あらかじめ自分なりにまとめておく。箇条書きのメモがあるとより良い。
- ② 相手が電話に出たら、まず、自分の名前を名乗るのが礼儀ですが、問合せのみにしたい場合は、「●●の件でお聞きしたいことがありますか、今よろしいでしょうか?」などあらかじめ何の問い合わせをして、何を聞きたいのかを伝える。
- ③ 主語や述語に気を付ける。「誰が」「何を」「どのように」が伝わるように話す。



ポイント!

この時代だからこそ身に付けておきたいマナーが他にもあるかもしれません。

- 聞きたいことが聞けなかった場合は、③の部分のわかりやすく伝えられたかを考えてみましょう。問合せ先がそもそも違っていた場合は、「では、どちらに問合せすればいいか、教えていただけませんか?」など、確認するといいかもしれません。
- メールでは音声のやりとりではありませんが、ここでも人柄が現れます。携帯からパソコンメールに送る場合は、いつものような、携帯メールのやりとり内容ではなく、「●●さま」から始まり、自分が誰なのかをはっきりとしたうえで、内容を打ち込んでいった方が、パソコン画面で見たときに、違和感が少なくなります。

うまくいくためのポイント! 自分の会話のクセを知る

- 話の展開に関する項目 いろんな話がごっちゃになり、長くなる。もしくは、端折りすぎて真意が伝わりにくい。など
- 表現の手法に関する項目 状況が想像しやすいよう、具体性をもって話していない。聞き手を意識せず、一方的に話す。「誰が」「誰に」をはっきりさせないで話すことが多い。
- 話の要素に関する項目 話の要素に関する項目: 事実だけを伝え、自分の意見を言わないので、何を伝えたいのかわからないことがある。自分の話や自慢話が多い。当たり前のことしか言わない。
- 語り口に関する項目 語り口に関する項目: 「あの～」「え～っと」などのつなぎ言葉が多い。早口。ゆっくりしすぎ。滑舌が悪い。専門用語や横文字表現が多い。

あっとわんの Facebook ページができました!

<http://www.facebook.com/npoatone>

イベントなどの様子をアップしています



いいね! してね!

あっとわんのホームページが新しくなりました!

<http://npo-atone.jimdo.com>